

長田中 学校だより

元気発信感動ながた



第41号 令和5年8月7日発行
金沢市立長田中学校
Email nagata-j@kanazawa-city.ed.jp
学校ホームページURL
<http://cms.kanazawa-city.ed.jp/nagata-j/>

*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

夏休み前半が終わります 2学期まであと22日！

もうすぐ夏休み前半が終了します。生徒のみなさん、充実した夏休みを送っていますか。蝉の声が聞こえる中、部活動や自習教室などで登校するみなさんは、真っ黒に日焼けをして、元気に活動する様子がかがえます。部活動は、新しいチームで秋の新人大会等に向けて、チームとしての土台を築く大切な時期です。限られた時間の中、しっかり活動しましょう。



【自習教室で勉強する生徒の様子】

今年の夏は全国的に猛暑で、ここ数日は「熱中症警戒アラート」が発令されています。運動部のみなさんは、こまめに休憩を取りながら、水分や塩分を補給しながら活動してください。規則正しい生活を心掛け、体調がよくないときは決して無理をしないでください。登下校時にはできるだけ日傘を使ったり、帽子をかぶったりして、直射日光を避けるようにしてほしいと思います。

今週末の11日(祝・金)から1週間、学校閉庁期間となります。3年生は引き続き受験勉強を継続し、1、2年生は夏休み前半、頑張った部活動の疲れをとるために十分に体を休めるとともに、最後に焦らないように計画的に夏休みの課題に取り組んでほしいと思います。もちろん、自分の時間もいつも以上に十分ありますから、普段できないことにも取り組んでほしいと思います。

学校閉庁期間後は、22日(火)から全中陸上競技が始まり、200m、走高跳、4×100mリレーと本校から3種目に出場します。また、県立武道館より佐渡谷選手が全中柔道競技大会に出場します。選手のみなさん、頑張ってください！23日(水)は登校日です。今一度、夏休みのしおりや学年だよりなどで日程や課題提出の確認をしてください。2学期まであと22日！

北信越大会陸上競技 男子100mで北信越中学新記録！

8月2日(水)令和5年度第44回北信越中学校総合競技大会・陸上競技が西部緑地公園陸上競技場で行われました。本校から男子100mに清水選手、200mに二口選手、男子走高跳に中西選手、女子200mに吉田選手、女子1500mに久田選手、男子4×100mリレーに出場しました。



【ライバルに競り勝ち、大会新記録・北信越中学新記録でゴールする清水選手】

男子100mでは、清水選手が予選でいきなり大会新記録・北信越中学新記録の10秒78をマークしました。本人は決勝に向けてまだ余力を残し、10秒6台を狙っていたようですが、決勝では2回のリスタートがあり、結果は予選と同タイムの10秒78でした。アクシデントがあってもしっかりと結果を残した清水選手、おめでとうございます！

猛暑の中、各種目で健闘した選手のみなさん、お疲れ様でした。北信越の猛者と競り合った経験はとても貴重で、今後の競技生活だけでなく学校生活においても大きくプラスになるはずです。また、活躍の場が残されている選手のみなさん、全国大会等に向けてしっかり調整し、思う存分実力を発揮してきてください！応援しています！

県吹奏楽コンクール金賞・県代表！

7月29日（土）に行われた「石川県吹奏楽コンクール」で、見事、金賞・県代表に輝きました！吹奏楽部のみなさん、おめでとうございます！吹奏楽部は、12日（土）に行われる北陸大会に出場し、全国大会を目指します。がんばれ！吹奏楽部！



8月6日は、広島「原爆の日」 被爆78年

広島は6日（日）、被爆78年の「原爆の日」を迎えました。原爆投下時刻の午前8時15分に合わせて開かれた平和記念式典には、原爆で亡くなった人たちの遺族や、地元選出の岸田文雄首相らが参列しました。生徒のみなさんに、こども代表による「平和の誓い」を紹介します。

【平和への誓い】

みなさんにとって「平和」とは何ですか。
争いや戦争がないこと。
差別をせず、違いを認め合うこと。
悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。
身近なところにも、たくさんの平和があります。

昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分。

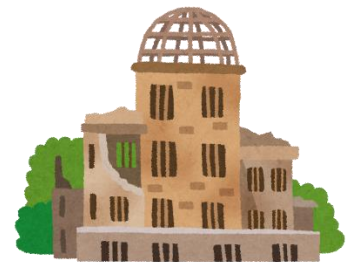
耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。
皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。
子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親。
たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のまちは破壊され、悲しみで埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか。」
仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。
原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、生きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

あれから78年経ちました。
今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。
「生き残ってくれてありがとう。」
命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

私たちにもできることがあります。
自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。
友だちのよいところを見つけること。
みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いを一つにするときです。
被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。
身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。
誰もが平和だと思える未来を、広島に生きる私たちがつくっていきます。



【平和記念式典で「平和の誓い」読む小学生】



令和5年（2023年）8月6日
こども代表 広島市立牛田小学校6年 勝岡 英玲奈、広島市立五日市東小学校6年 米廣 朋留
【中国新聞デジタル記事参照】

今年で戦後78年を迎えます。戦争を生き延びた人は高齢化し、当時のことを知る人はどんどん減ってきていますが、平和への思いを若い世代へ託そうと、発信を続ける人もいます。私たちは、同じ苦しみを二度と繰り返さないために、戦争を知る人からのバトンをしっかりと受け取り、後世へとつなげていかなければなりません。生徒のみなさんも考えてみてください。